

【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

【西泊中学校授業モデル】

- ① **形成的評価1**（レディネス把握のための小テスト）
 フォーム等で本時の学習に必要なレディネスを把握する。
 ※本時の学習に必要なレディネスに達していない場合は、
 既習内容を復習し、定着を図る。
- ③ **めあての提示**
 生徒が「学びたい」と思う魅力あるめあてにする。
- ④ **本時の内容の教授・学習・練習・作業等**
 ※一人では理解や作業が難しい場合、個々の到達度に差がある場合は、協働的に課題を解決させる場面を仕組む。
 ★協働的な学び
- ⑤ **形成的評価2**（生徒の理解度・定着度を把握するための小テスト）
 フォーム等で生徒の到達度を把握するとともに、
 生徒には結果のフィードバックを与える。
- ⑥ **生徒の達成状況に応じた課題の提示**
 ★個別最適な学び
- ⑦ **本時のまとめ**
 目標、めあてとの整合性を！

【公開授業の実施】

- 個別最適な学びと協働的な学びの実現のためのクロームブックを活用した研究授業を全員が実施した。授業構成チェックシートを利用し、授業を構想し、研究との整合性を図った。
- 研究授業の様子と授業の内容は、オンデマンドで市内の教職員に公開した。

項目	内容	チェック	メモ
めあて	生徒が「学びたい」と思う魅力あるめあてとなっているか。		
協働的な学び 対話的で深い学び	クロームブックを使って問題解決をしたり、思考を広げたりする協働的な学びが仕組まれているか。		
個別最適な学び	クロームブックを使って個に応じた課題や支援を提供し、一人も取り残さない、個別最適な学びが仕組まれているか。		
形成的評価	授業の前半でのクロームブックを使った生徒のレディネス把握、後半での生徒の達成状況を把握する形成的評価ができていないか。		
主体的な学び	「わかった」「できた」「楽しい」と目を輝かせながら、自ら進んで学習しようとする生徒の姿が見られる授業内容となっているか。		
板書	1時間の学習の流れ、思考の過程（自分たちの問いやつまづき、考えが深まったところ、めあてとまとめ）が構造的に示されているか。		
電子黒板	動画や静止画でイメージを具体化したり、生徒と同じ教科書やワークシートを示したりする電子黒板の効果的な活用が工夫されているか。		
まとめ	めあてとの整合性、学習指導要領（本時で身につけさせてい資質能力）との整合性があるまとめとなっているか。		

【取組内容①】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

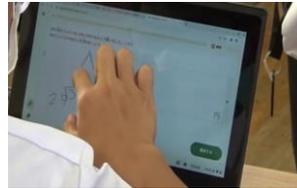
【公開した授業】

技術・家庭科（技術分野）1年生

変数を使ったプログラミングをマスターしよう

クラウド上のプログラミングソフトを使って「定価・割引・送料」から価格を自動計算するプログラムを作成

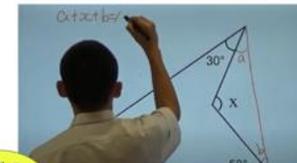
本時の授業内容（クラスルームで共有）



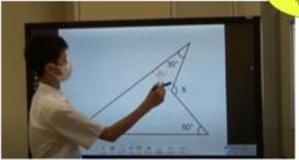
数学科（2年生）

実測や実験で予想した性質を、図形の性質を使って説明する方法を考えよう

フォームで形成的評価、スライドによる思考の共有、先生やクラスメートに説明



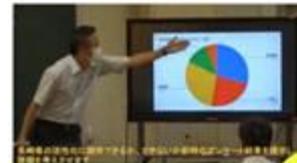
授業の様子



社会科（2年生）

変革期を迎えている長崎県の取組に私達はどのようにかかわることができるだろうか

フォームでアンケート、ジャムボードでの話し合い、スライドによる共同編集



授業の様子



国語科（3年生）

自分の思いを届けるために必要な工夫を考える

フォーム・テキストマイニングによる思考の整理・共有



授業の様子



【取組内容③】クロームブックによる家庭学習の充実

【クロームブックのルールの指導】

1 校内での利用について

- 授業中→担当の先生の指示のもと使用する。
- 休み時間→昼休み・放課後は、先生の許可を得て使用する。

2 持ち帰りについて

- 平日→充電が切れそうなき、クロームブックを使った課題が出たとき、クロームブックを使って学習を行いたいときに自分の判断で持ち帰る。
- 毎週末、祝日、長期休業前→必ず持ち帰り、フル充電して休み明けに持ってくる。
- 土・日曜日（祝日）・長期休業中には、必ずAIドリルを1日1時間以上実施する。

【日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実】

- 生徒会活動としてクロームブックを使った家庭学習を呼びかけ、取組が優れた生徒を表彰した。
- 各教科で教師が、クロームブックで課題を出して取り組ませた。
- クロームブックで調べてまとめた内容を授業で発表したり、質問したりして、学習内容の理解を深めた。
- 書く力の低下の懸念
→デジタル（クロームブック・電子黒板等）とアナログ（ノート・ワーク・黒板等）のベストミックスを図る。



【取組内容④】グループウェアやクラウド環境を活用した校務の効率化と校内研修の充実

【グループウェアやクラウド環境を活用した校務の効率化】

校務系の情報	紙媒体での文書受付・回覧、会議資料配付をできるだけ無くし、サーバ上で共有
情報系の情報	クラスルームやクラウドで共有
保護者への連絡	紙媒体での配付を少なくし、無料の連絡アプリや学校ホームページで連絡
欠席連絡	無料の連絡アプリを利用し、朝の電話対応業務を削減
各種調査	グーグルフォームを使ったアンケートで自動集計

【グループウェアを活用した対話的・協働的な校内研修】

1学期はクラウド・アプリ・端末の教職員のスキル向上を図り、2学期はグループウェアを活用して協議を行うとともに、全員によるICT活用研究授業を実施した

主な校内研修の内容

- 校内研修の進め方・クロームブックの利用のきまり
- クラスルームを利用した生徒への課題の配付・回収と共同編集の仕方
- 学校ホームページ・連絡アプリを利用したペーパーレス化の方法
- グーグルフォームの利用方法
- グループウェア（ジャムボード、スライド）を活用して各教科でのICT活用についての協議
- 校内研究授業と授業研究会

